

問1 てこを使って重いものを持ち上げるとき、そのものに力がはたらいている「作用点」では、どのようなことがおこっていますか。

1. てこを支える。 2. 手で力を加える。 3. ものに力がはたらく。 4. てこが回転する。

問2 てこを使って、ものに力がはたらく位置のことを何といいますか。

1. 作用線 2. 支点 3. 力点 4. 作用点

問3 てこのうでをかたむけるはたらきの大きさは、どのように表されますか。

1. おもりの重さ×支点からのきより 2. おもりの重さ×うでの太さ 3. 支点からのきより×おもりの数 4. おもりの重さ+支点からのきより

問4 てこの仕組みを使った道具のうち、力を加える部分（力点）が、支える部分（支点）と仕事をする部分（作用点）の間にある道具を何と呼びますか。

1. 支点と作用点がない道具 2. 力点が間にある道具 3. 支点が間にある道具 4. 作用点が間にある道具

問5 てこを使って重いものを持ち上げるとき、手でてこを押下げたり引き上げたりして、力を加える位置のことを何といいますか。

1. 作用線 2. 作用点 3. 支点 4. 力点

問6 支点と力点の間に作用点があるてこの仕組みを使った道具はどれですか。

1. せんぬき 2. はさみ 3. ピンセット 4. トング

問7 力点と支点の位置を変えずに、作用点を支点到近づけて重いものを持ち上げるとき、手ごたえと必要な力はどうなりますか。

1. 手ごたえが小さくなり、小さな力で持ち上げられる 2. 手ごたえが小さくなり、大きな力が必要になる 3. 手ごたえが大きくなり、大きな力が必要になる 4. 手ごたえは変わらないが、大きな力が必要になる

問8 力点と支点の位置を変えないとき、重いものをより小さな力で楽に持ち上げるためには、作用点をどのように動かせばよいですか。

1. 支点から遠ざける 2. てこの外側に出す 3. 力点と同じ位置にする 4. 支点到近づける

問9 てこを使って重いものを小さな力で持ち上げるとき、力点と支点の間隔はどのようにすればよいですか。

1. 力点と支点を同じ位置にする 2. 力点を支点到近くにす 3. 力点を支点到遠くにす 4. 力点と支点の間隔は関係がない

問10 力点が作用点と支点の間にある道具の例として、正しいものはどれですか。

1. 釘抜き 2. 栓抜き 3. シーソー 4. ピンセット

問11 支点が作用点と力点の間にある道具の例として、正しい組み合わせはどれですか。

1. ピンセットとせんぬき 2. くぎぬきとせんぬき 3. はさみとくぎぬき 4. はさみとピンセット

問12 てこのうでをかたむけるはたらきの大きさは、どのような計算で求めることができますか。

1. おもりの数（力の大きさ）÷支点からのきより（長さ） 2. 支点からのきより（長さ）÷おもりの数（力の大きさ） 3. おもりの数（力の大きさ）×支点からのきより（長さ） 4. おもりの数（力の大きさ）+支点からのきより（長さ）

問13 てこを利用した道具である「はさみ」を使うとき、指で握って力を加える部分は、てこの何にあたりますか。

1. 支点 2. 作用線 3. 力点 4. 作用点

問14 1点でささえた棒に力を加えて、重いものを持ち上げることができる仕組みを何といいますか。

1. 輪軸 2. かつ車 3. しゃめん 4. てこ

問15 てこを使って重いものをできるだけ小さな力で楽に持ち上げたいとき、支点と作用点の位置を変えないとすると、力点の位置をどのようにすればよいですか。

1. 力点を支点到遠ざける。 2. 力点を支点到近づける。 3. 力点を作用点到近づける。 4. 力点を支点和同じ位置にする。

問16 てこの仕組みを使って重いものを持ち上げるとき、力を加えるものはどれですか。

1. ささえた棒 2. 地面 3. ささえている点 4. 持ち上げるもの

問17 てこがつり合うとき、左側のおもりの重さと支点到からのきよりをかけた値と、右側のおもりの重さと支点到からのきよりをかけた値が等しくなるというきまりを何といいますか。

1. てこのかたむきのきまり 2. てこのはたらきのきまり 3. てこのつり合いのきまり 4. てこの重さのきまり

問18 台ばかりを上から指で押したときに、針が100gを示したとします。このとき、指が加えている「100g」という値は、何の大きさを表したものですか。

1. てこの長さ 2. 力の大きさ 3. おもりの体積 4. 支点的位置

問19 空きかんつぶし器は、てこの仕組みを利用した道具です。この道具において、支点と力点の間にある部分はどこですか。

1. 支点 2. 力点 3. 作用点 4. 作用点と力点の両方

問20 てこを使って重いものを小さな力で持ち上げるとき、作用点と支点の間隔はどのようにすればよいですか。

1. 作用点を支点到近くにす 2. 作用点と支点を同じ位置にする 3. 作用点を支点到遠くにす 4. 作用点と支点の間隔は関係がない